

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	総合在宅ケアセンター・障がい者施設	階数	地上2F
建設地	兵庫県加古川市	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,100 時間/年(想定値)
建物用途	学校,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年6月3日
敷地面積	30,330 m ²	作成者	荒川綾
建築面積	3,178 m ²	確認日	
延床面積	3,619 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	97%
③上記+②以外の	97%
④上記+	97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.6
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.4
耐用性	2.9
対応性	3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.1
地域環境	3.6
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
メリハリのある窓と大きな庇により変化をつけ、陸屋根と勾配屋根をバランスよく配置し、周辺環境に馴染む外観としている。	
Q1 室内環境 建物の断熱性能を高め、室内環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 維持管理のしやすさに配慮している。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に残る森林を最大限残し、敷地内外から豊かな緑の見える景観形成を行っている。	
LR1 エネルギー ECOガラスを利用し、建物の熱不可抑制に努めている。	LR2 資源・マテリアル 解体後のリサイクルに配慮し、分別可能な材料・構法を採用している。
	LR3 敷地外環境 騒音等、周辺の影響が懸念される事項については各種法を順守している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される